

道徳 評価の視点【5年】

教材名	五年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ
ねらい	教材に示された文章をもとに、友達と考えを交流する活動をとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもたせる。
評価の視点	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができるか。 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。

教材名	今度こそ！ 「責任ある行動を」
ねらい	集会委員会での失敗から「ぼく」が学んだことについて話し合うことをとおして、自由と自分勝手の違いを理解し、自他の自由を尊重しつつ責任ある行動をとろうとする判断力を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、自由と自分勝手の違いを理解し、責任ある行動の大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自由と自分勝手の違いを理解し、自他の自由を尊重しつつ責任ある行動をとるために必要な見方・考え方について、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	心をつなぐあいさつ 「真心をもって挨拶を」
ねらい	朝の登校時や病院などでの挨拶を体験的に学ぶことをとおして、時や場面に応じた挨拶をすることの大切さに気づき、真心をもって礼儀正しく挨拶しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	挨拶の大切さについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 時と場面に合わせた挨拶の大切さを理解し、相手の気持ちや立場を思いやるような真心のこもった挨拶をすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	たからもの 「『よさ』を見つめて」
ねらい	自分のよいところに気づき、自信を取り戻していく「わたし」の姿について話し合うことをとおして、自分の長所を知り、それを伸ばすことへの考えを深め、自信をもって前向きに生活しようとする実践意欲と態度を育てる。

評価の視点	他者の考え方にふれ、自分の長所を自覚し、短所を改めることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分の特徴を知り、長所を伸ばすことが自信をもって前向きに生活することにつながるということについて、自分との関わりで考えることができているか。
-------	---

教材名	ある朝のできごと 「望ましい生活習慣」
ねらい	大樹さんの行動について話し合うことをとおして、規則正しい生活をするものの大切さに気づき、節度を守り節制に心がけようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	基本的な生活習慣の大切さに気づき、節度を守り、節制に心がけることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自ら節度を守り、節制に心がけることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	志高く、今を熱く生きる 「わが国の発展のために」
ねらい	日本の発展のために力を尽くした渋沢栄一の生き方について話し合うことをとおして、先人の努力を知り、わが国や郷土の伝統と文化を尊重し、国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、わが国の発展に尽くした人物の生き方から、国を思う心のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分もわが国の一員であることの自覚を深め、国や郷土を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	よさこいソーラン祭り 「郷土を愛する」
ねらい	「ぼく」が自分の町を誇りに思う気持ちについて話し合うことをとおして、地域の伝統や文化を受け継ぐことの大切さに気づき、その文化を発展させようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、わが国や郷土の伝統と文化を大切にし、それを愛する心について、多面的・多角的に考えることができているか。 わが国や郷土の伝統と文化を大切にして、先人の思いを引き継ぐことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	ロレンゾの友達 「真の友情」
ねらい	ロレンゾに対する3人の友達の考え方について話し合うことをとおして、「本当の友情」への考えを深め、友達と互いに信頼し友情を育もうとする心情を育てる。
評価の視点	友情を深めていくために、友達とどのように関わることが相手にとってよりよいのかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 互いに高め合い、信頼できる友情について、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	知らない間のできごと 「信頼し合える仲に」
-----	-----------------------

ねらい	あゆみさんとみかさんの行動や心情について話し合うことをとおして、友達と関わる時に大切にしたいことへの考えを深め、友情を深めようとする心情を育てる。
評価の視点	友達とよりよい人間関係を築いていくために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 友達とよりよい人間関係を築いていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ほのぼのテスト 「相手の気持ちを考えて」	
ねらい	車掌と運転士がとった行動について話し合うことをとおして、相手の気持ちを考えて行動することの大切さに気づき、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。	
評価の視点	役割演技をとおして、いろいろな立場の人々の考えにふれ、思いやりのある行動について、多面的・多角的に考えることができるか。 誰に対しても思いやりの心をもつことについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	参考にするだけなら 「正直に言うことの難しさ」	
ねらい	知子さんの行動や心情について話し合うことをとおして、うそをつかずに正直に生きていくことの大切さに気づき、誠実に明るい心で生活しようとする判断力を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、まちがいや過ちを素直に認めることの難しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 まちがいや過ちを素直に認め、正直さや誠実さをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	新幹線開発物語 「目標に向かって」	
ねらい	多くの困難に直面しながらも、新幹線の開発を進めた三木忠直さんの思いについて話し合うことをとおして、困難があってもくじけずに努力し続けることの大切さに気づき、希望をもって物事をやりぬこうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、困難があってもくじけず、希望をもって粘り強くやりぬくことのすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 希望をもつことの大切さを知り、困難があってもくじけずに目標に向かって努力し、物事をやりぬくことについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	長嶋茂雄の人生は七転び八起き 「困難に立ち向かって」	
ねらい	困難に直面しながらも、努力を続ける長嶋茂雄さんの生き方について話し合うことをとおして、困難があってもくじけずに努力し続けることの大切さに気づき、希望をもって物事をやりぬこうとする実践意欲と態度を育てる。	

評価の視点	他者の考え方にふれ、困難があってもくじけず、希望をもって粘り強くやりぬくことのすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 希望をもつことの大切さを知り、困難があってもくじけずに目標に向かって努力し、物事をやりぬくことについて、自分との関わりで考えることができるか。
-------	--

教材名	自動車への限りない夢 「失敗を恐れずに」	
ねらい	自動車造りに情熱をもって挑戦した豊田喜一郎の生き方について話し合うことをとおして、困難があってもくじけずに努力し続けることの大切さに気づき、希望をもって物事をやりぬこうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、困難があってもくじけず、希望をもって粘り強くやりぬくことのすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 希望をもつことの大切さを知り、困難があってもくじけずに目標に向かって努力し、物事をやりぬくことについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	横浜港のガンマンの思い 「みんなのために働く」	
ねらい	上坪茂さんの仕事に対する考え方について話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、仕事をするうえで大切なことはどのようなことであるかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 仕事に対する考え方を話し合うことをとおして、働くことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	森の絵 「自分の役割を考えて」	
ねらい	えり子さんの考え方の変化について話し合うことをとおして、クラスや学校で役割を果たすことの大切さに気づき、自分の役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスや学校をつくらうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	自分の役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスや学校をつくることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分の役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスや学校をつくることについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	図書館はだれのもの 「自他の権利を大切に」	
ねらい	「わたし」のすっきりとしない気持ちについて話し合うことをとおして、法やきまりの意義に気づき、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、権利と義務の関係について、多面的・多角的に考えることができるか。 自他の権利を尊重し、ルールやマナーを守って行動することについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	ルールを守る 「ルールやきまりを守って」	
-----	----------------------	--

ねらい	学校の廊下や横断歩道などでの言動を体験的に学ぶことをとおして、ルールやきまりの意義についての考えを深め、すすんで法を守ろうとする判断力を育てる。
評価の視点	ルールやきまりを守ることの大切さについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 ルールやきまりの意義を理解し、それらを守って生活していこうとする気持ちをもつことについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	オオカミから教えられたこと 「かけがえのない命」	
ねらい	坂東元さんが行ったオオカミへの治療について話し合うことをとおして、「命をかがやかせる」ことへの考えを深め、相手の立場に立って命を尊重しようとする心情を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、生命を尊重することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 生命を尊重することの大切さを理解し、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	稲むらの火 「命の大切さ」	
ねらい	津波が起きたときの五兵衛の行動について話し合うことをとおして、命の大切さへの考えを深め、かけがえのない命を尊重しようとする心情を育てる。	
評価の視点	命をさまざまな視点から捉え、生命の尊さや大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 生命の尊さや大切さを理解し、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	だれかをきずつける機械ではない 「ネットいじめをなくそう」	
ねらい	「ぼくたち」の行動について話し合うことをとおして、ネットいじめを防ぐために大切なことに気づき、誰に対しても差別することなく公正・公平な態度で接しようとする判断力を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、誰に対しても公正・公平に接することや社会正義を実現することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 誰に対しても公正・公平に接することや社会正義を実現することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	モントゴメリーのバス——キング牧師とバスボイコット運動—— 「差別のない社会へ」	
ねらい	キング牧師がバスのボイコット運動を続けた理由について話し合うことをとおして、差別のない社会の大切さに気づき、公正・公平な態度で接しようとする判断力を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、誰に対しても公正・公平に接することや社会正義を実現することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 誰に対しても公正・公平に接することや社会正義を実現することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	

教材名	わたしにできることを 「家族のためにできることを」
ねらい	「わたし」のおじいちゃんへの思いについて話し合うことをとおして、家族に対する思いを深め、すすんで家族の役に立つことをしようとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、家族の幸せのために、すすんで役に立つことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 家族の幸せのために、すすんで役に立つことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	よみがえる五百年前の色彩 「感動する心」
ねらい	システイーナ礼拝堂の天井画や壁画の修復をなしとげたコラルッチの思いについて話し合うことをとおして、美しいものに感動する心があることに気づき、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりすることを大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、美しいものや崇高なものに感動する心や、人間の力を超えたものに対する畏敬の念について、多面的・多角的に考えることができているか。 美しいものや崇高なものに感動する心や、人間の力を超えたものに対する畏敬の念について、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	二億人を救った化学者——大村 智—— 「常に探究心をもって」
ねらい	大村先生がイベルメクチンを開発することができた理由について話し合うことをとおして、探究心をもち続けた大村先生の生き方への考えを深め、真理を大切に物事を探究しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	真理を大切に物事を探究しようとする心をもつことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 真理を大切に物事を探究する心をもつことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	悲願の金メダル——上野由岐子—— 「人々の支え合いに感謝」
ねらい	上野由岐子選手の思いについて話し合うことをとおして、日々の生活が多くの人々の支え合いによって成り立っていることを理解し、それに感謝し、応えようとする心情を育てる。
評価の視点	他者の考え方にふれ、日々の生活を支えてくれている人たちへ感謝することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 日々の生活が多くの人々の支え合いによって成り立っていることを理解し、感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	トキのまう空 「自然環境を守る」
-----	------------------

ねらい	近辻宏帰さんを取材した「わたしたち」が自然環境を守るためにやるべきことをどのように考えたかについて話し合うことをとおして、自然環境を守ることの大切さに気づき、自然と調和しながら生活しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	一度失われた自然環境を取り戻すには困難が伴う等の観点から、環境保護の大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 環境保護と人間の生活との関係について、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	銀のしょく台 「相手を許す心」	
ねらい	ミリエル司教がジャン・バルジャンに銀の食器だけでなく銀のしょく台まで与えた理由について話し合うことをとおして、広い心で許し合っていくために大切なことへの考えを深め、広い心で相手を受け止めようとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、相手と相互理解をし、寛容な心をもつことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 相手と相互理解をし、寛容な心をもつことについて、自分との関わりで考えることができているか。	

教材名	ブータンに日本の農業を 「世界の人々のために」	
ねらい	ブータンの農業指導に力を尽くした西岡京治さんの生き方について話し合うことをとおして、他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって外国の人とのふれ合いを大切にしようとする心情を育てる。	
評価の視点	他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努める大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 国際理解や国際親善のために、外国の人とふれ合うときに大切にしたいことについて、自分との関わりで考えることができているか。	

教材名	青い目の人形 「他国の人々と親しく」	
ねらい	土居村の小学校で青い目の人形を処分しなかった理由について話し合うことをとおして、他国の人たちと心を通わせて交流するために大切にすべきことについての考えを深め、他国の人々とすすんで親しくしようとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、日本人として国際親善に努めることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 国際理解、国際親善を進めるうえで大切なことについて、自分との関わりで考えることができているか。	

教材名	花に思いをこめて——星野富弘—— 「生き方を考えて」	
ねらい	星野富弘さんの詩や絵から感じたことについて話し合うことをとおして、弱さを克服し、よりよく生きていこうとする人間の強さや気高さに気づき、人間として生きる喜びを感じようとする心情を育てる。	

評価の視点	よりよく生きていくためにはさまざまな人との支え合いが大切であることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 支え合いながらよりよく生きるということについて、自分との関わりで考えることができているか。
-------	---

教材名	世界にひびく伝統の音 「伝統を守り、受け継ぐ」	
ねらい	平安時代末期から続く鉄を打つ技術を受け継いでいる明珍宗道さんの姿について話し合うことをとおして、伝統を守ることの意義を理解し、長く受け継がれてきたわが国の伝統的な文化を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、「伝統を受け継ぐ」ことの意義について、多面的・多角的に考えることができているか。 わが国や郷土の伝統と文化は多くの人によって受け継がれてきたもので、一度失うと取り戻せないものであるということについて、自分との関わりで考えることができているか。	

教材名	希——光の中を歩んだきょうだい—— 「大切な命」	
ねらい	光希くんが「学校に行きたい。」と言った理由について話し合うことをとおして、あたりまえに過ごしている日常の大切さへの考えを深め、かけがえのない命を尊重しようとする心情を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、生命を尊重することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 生命を尊重することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	

教材名	この空は遠い日本とつながっている——和田重次郎—— 「家族の幸せのために」	
ねらい	和田重次郎が遠く離れている母のことを大切に思う理由について話し合うことをとおして、家族の幸せに対する思いを深め、家族のためにすすんで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	家族の幸せのために役に立つには、どんな心が大切なのか、自分にはどんなことができるのかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 家族の幸せを求めて、すすんで役に立つことについて、自分との関わりで考えることができているか。	

教材名	知床の自然 「自然環境を守る」	
ねらい	自分の住んでいる都道府県にある自然について話し合うことをとおして、自然を守るためにできることへの考えを深め、自然環境を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、身近な自然環境を守ることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 身近な自然環境を守っていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	

教材名	一人はみんなのために…… 「支え合い、ともによりよく生きる」	
ねらい	元木由記雄さんの生き方について話し合うことをとおして、支え合うことで「弱さ」を克服することができることに気づき、他者とともによりよく生きようとする実践意欲と態度を育てる。	
評価の視点	他者の考え方にふれ、「よりよく生きる」ことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 人間は多くの人々とのつながり合いの中でこそよりよく生きることができるということについて、自分との関わりで考えることができるか。	